



社長年頭のご挨拶 NEW YEAR GREETING

明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、当社事業は堅調に拡大することができました。事業開始5年目となった天然ガス供給事業は新たに沖電本店構内に牧港天然ガス供給センターからの供給を開始するなど、沖縄ガスさまへの卸供給を含め、お客様は20社に増えました。また、可倒式風車事業は、当社初の海外事業となるトンガ電力公社向けの5基の新規建設案件において、昨年6月末に無事故無災害で工期通りに竣工引渡しを完了することができました。自家発事業についても、お客様に満足いただけるようサービスの質的向上に尽力しました。これらの事業を推進できているのは、多くの関係先の方々の多大なご協力・ご理解の賜であり、常に感謝の気持ちを抱き続けることが重要です。

一方、昨年もまた台風15号による房総地域を中心とする長時間停電をはじめ全国的に自然災害によるエネルギー供給支障が発生し、改めてエネルギーの供給体制の在り方が問われた年でした。当社も、自然災害は必ずかつ突然に発生することを前提に、業務フローや設備の在り方について、固定観念に捉われず柔軟な感性のもとに不斷の見直しが必要です。また、言うまでもなくヒューマンエラーは絶対に発生させないと強い意思のもと訓練や研修等の研鑽を積むとともに、日々の業務において常に緊張感をもって臨む必要があります。

天然ガス供給事業は立ち上げ段階にあり、まだ十分に拡大の余地があります。環境性・安全性に優れた天然ガスの普及拡大は国・沖縄県の政策とも一致しています。お客様に選んで頂けるよう役職員一同が叡智と熱意を結集すると共に事業関係先の皆様との連携も一層深化させ、沖電が昨年4月に公表した中期経営計画における天然ガス販売獲得量の達成に向か、一丸となって取り組みましょう。

その中で、働き方についても常に新たな視点から見直し、業務の効率化を推進すると共に業務にメリハリをつけワークライフバランスに積極的に取り組んで頂き、公私共に充実した1年となることを期待します。

最後になりますが、本年が皆さま、そしてご家族の方々にとって幸い多い年となることを祈念します。

代表取締役社長 梁 好男



謹賀新年



本社屋前にて

1月号
Vol.05
発行:2020.1

社員紹介

技術営業部 電機課
知名 俊英
(ちな しゅんえい)

琉球大学 工学部 電気電子工学科
2008年3月卒
入社日 2017年2月1日



資格免状を手に 可倒式風車点検作業

Q1. 担当業務について教えてください。

商業施設やホテルなどの自家用発電設備（常用・非常用）の保守・点検や法的な手続き、新規導入提案などの業務を担当しているほか、可倒式風力発電設備の保守・点検・建設業務も行っています。

Q2. 仕事をすすめる上で気をつけていることは何ですか？

お客様へ設置した自家発（コーポレーティブシステム）の継続、かつ、安定した運用を目指し、点検、修理、部品交換などの保全計画を立て、定期的にメンテナンスを行いトラブルの予防保全に努めているとともに、自家発の省エネ・運用コスト低減が図れるよう、最適な運転スケジュールを提案するなど、多様なお客様のニーズに応えられるよう努めています。

また、可倒式風力発電設備については、これまでの経験を活かし若手社員に対する技術や技能の継承、安全教育や品質管理等について指導を行っています。

Q3. 今後の抱負について教えてください。

昨年、35歳にして第三種電気主任技術者試験に合格することができました。足掛け10年での資格取得になりましたが、実務を通じ先輩方々から学び、教わりながら達成できたものを感じています。これまで携わっていただいた関係者の皆さまに感謝し、今回取得した資格を活かして今後もお客様から信頼されるよう心掛けていきます。

また、これを機に、新しい資格取得にもチャレンジしていきたいと思います。

Q4. 趣味は何ですか？

野球、ゴルフ、サッカーのスポーツ系は何でも好きです。その他、大学時代に測定装置（磁歪測定装置：鉄に磁気を与えると鉄が変化する現象）の開発を研究していました。その関係で、計測機器を集めるのが趣味となり、最近はオシロスコープを購入し、正弦波を眺めながら夕食をとっています。

周りからは少し変人と思われているので、そろそろやめようと思っているところです。

当社業務紹介

《第2回目》

技術営業部 電機課 自家発保守・点検業務紹介

ホテルや商業施設等お客様の施設に設置された自家用発電設備（非常用・ピークカット用）の維持管理のほか、不具合発生時には協力会社と連携し対応を行い、設備が早期に復旧できるよう体制を整えています。

VOICE

＼担当者の声／



上原 市郎



宮平 樹

お客様の設備に設置されている自家用発電設備は、非常に防災負荷へ送電するなど重要な役割を担うため、日頃のメンテナンスがとても重要になり、緊張感を持って業務に取り組んでいます。また、機械や電気・制御に関するなど肌で感じながらその知識を得ることができるために、日々勉強になることが多い、やりがいを感じながら仕事に励んでいます。

自家発は日頃の点検やメンテナンスも重要ですが、お客様や関係する業者の方と関わる機会も多いことから、「報連相」を意識し、仕事に取り組むことが大切だと感じています。また、わからないことを上司へ尋ねたり自分で調べたりすることが多いものの、現場での作業をより深く理解できた時などにこの仕事の達成感を感じています。



受電設備点検



巡回点検

編/集/後/記/

◎昨年末に当社ホームページの全面的なリニューアルを行いました。動画を新しく取り入れ、当社業務を視覚面からも紹介しておりますので、是非ご覧ください。ご感想・ご意見等いただければ幸甚です。(H)

◎当社において3組の令和婚がありました。おめでとうございます。末永くお幸せに。(M)

01

【トピック】

ガス安定供給の強化に向けた社内訓練

通常、協力会社の方々にお願いしているガス設備工事を当社現場担当者も実地で経験する訓練を実施しました。

◎ねじ配管施工訓練

10月29日(火)に、ねじ配管の品質管理・検査能力のより一層の向上を目的に、社員自らねじ工事の施工および相互に完成検査を行う実習を行いました。

配管施工では、パイプマシンにてねじ切り作業を行い、規格に適合しないねじでは施工性・品質にバラツキが生じ、規格との適合確認の重要性を実習者全員が身をもって体験し再確認することができました。

また、配管寸法取りが難しいメーター回り配管を行うことで、施工者(職人さん)の苦労や勘所のポイントをつかむことができました。

配管施工後は、気密検査と完成検査をセルフ・相互検査を行い、検査チェック時に留意するべき事項はもとより、施工の丁寧さや美観の重要性も再認識することができました。



◎溶接技術訓練

11月19日(火)・20日(水)の両日、溶接配管施工中の品質管理および検査能力のより一層の向上を目的に、配管溶接技術講習会を大阪ガスエンジニアリング(株)さま・大阪装置建設(株)さまに実施していただきました。

19日(座学)

溶接の基礎知識や欠陥・検査および、ガス事業法と高圧ガス保安法の相違点などに重点をおいた内容で、溶接工事の理解を深めることができました。

20日(実技)

突合せ配管のデモ溶接や、配管内にガスがある状態(活管)でのボス溶接・穿孔、ノープローワーク法によるガス遮断までを行いました。

本講習には、ガス事業法における溶接の注意点を理解していただくため、当社の溶接配管工事を行う施工会社さまに加え、吉の浦火力発電所関係者さまもご参加いただき、社外から計約40名のご参加となりました。

02

【トピック】

イルミネーション設置作業

12月14日(土)に中城村当間の花と緑のふれあい広場において中城村商工会主催によるイルミネーション設置作業が行われ、当社から5人が参加しました。12月20日(金)17時半より点灯式が行われました。



▲設置作業に参加した中城村の皆さんと一緒に

03

【トピック】

メンタルヘルス講習会

10月30日(水)に、ハタワークス代表 社会保険労務士 大城朝野先生をお招きし、メンタルヘルス講習会を行いました。ストレスに対する理解を深め、自身のストレスに気づき、対処する手法等を学びました。



▲メンタルヘルス講習風景

2019年プログレッシブエナジー5大ニュース

1. トンガ王国可倒式風力発電所竣工

トンガ王国で可倒式風力発電所(275kW×5基)が6月に竣工しました。当社初の海外案件であり、サイクロンの影響等もありましたが、多くの関係者の支援をいただき、無事故・無災害で工期内での完成を見ることができました。



▲オープニングセレモニー [右から Sika 副首相(当時)、王妃、国王、石井大使、大使夫人]

2. 牧港天然ガス供給センター 運用開始

沖縄電力本店構内に6月より当社3件目の天然ガス供給センターが運開しました。当センターは沖縄県内初の熱量調整機能を有するLNGサテライトです。同センターからは導管(約800m)でセブン-イレブン・沖縄さま向けにお弁当やお惣菜を製造する武蔵野沖縄さまに天然ガスを供給しております。



▲牧港天然ガス供給センター

3. Royal Hotel沖縄残波岬さま向け エネルギーサービス開始

Royal Hotel沖縄残波岬さま向けにLNGサテライトおよびコージェネレーションを導入運開しました。本件は、天然ガスの供給に加えて、当社のエネルギーサービス事業として、設備を当社が保有することで、お客様の導入コスト低減が図れたほか、メンテナンス・効率運用提案を行うことで省エネルギー、省CO₂、省コストを図っております。



▲Royal Hotel 沖縄残波岬さまサテライト

4. 大阪ガスさまとの資本提携

3月5日に沖縄電力は、当社の株式について大阪ガスさまへ一部譲渡(25.0%)する株式譲渡契約を締結しました。天然ガスの利用等に関する豊富な技術・ノウハウを有する大阪ガスさまとの連携を強化することでガス事業における販売拡大や安定供給体制の更なる強化につながることが期待されます。



▲吉の浦火力発電所に着棧する大阪ガスさまのLNG船

5. LNGタンクローリー出荷累計2,000件達成

お客様の増加に伴い、5月2日にLNGタンクローリー出荷累計が2,000件に達しました。なお、11月末には2,712台となり、LNGタンクローリー出荷先は11件となりました。



▲LNGタンクローリーからの受入風景